



ゆりかご

2022
Vol. 3



NPO法人とくしまコウノトリ基金
活動レポート





コウノトリの現状



NPO法人とくしまコウノトリ基金
理事長 熊谷 幸三

contents

コウノトリの現状	1
ビオトープの整備を進めています	2
STORK NEWS	4
地域を元気にするプロジェクト	6
寄付商品のご紹介	7
ボランティアチーム「クレイドル」の活動	8
賛助会員 ご寄付 ご支援・ご入会のお願い	9

「ゆりかごVol.3」の発刊にあたって

2019年に設立した「とくしまコウノトリ基金」ですが、早いもので第3期目の事業年度が終了いたしました。この間、新型コロナで厳しい状況のなか会員の皆様方の暖かなご理解とご支援のもと、様々な活動が展開できましたことを心からお礼申し上げます。

3期目ではビオトープの整備、ボランティアチームの活動、地元小学校での環境学習プログラムの提供、会員企業様とのコラボによる商品の開発やエコツアーの試行等、これまでの取組みをブラッシュアップするとともに、これらの活動をサポートする拠点として「大谷ベース」の新設やトラクターの導入等も進めました。

また、ビオトープ整備に島田島を新たに加え、活動地域の拡大も進めました。

この小冊子では、これらの活動を紹介しています。誌面の関係で活動の全てをお伝えすることが出来ませんが、当基金へのご理解を深めて頂けると幸いです。

7月から始まる第4期でも新しい活動に意欲的にチャレンジして参りますので、皆様方のなご支援ご協力をお願い申し上げます。

会員数 (2022年6月)

賛助会員 117 (団体88 個人29)
協力会員 65 正会員 11 計 193

表紙写真

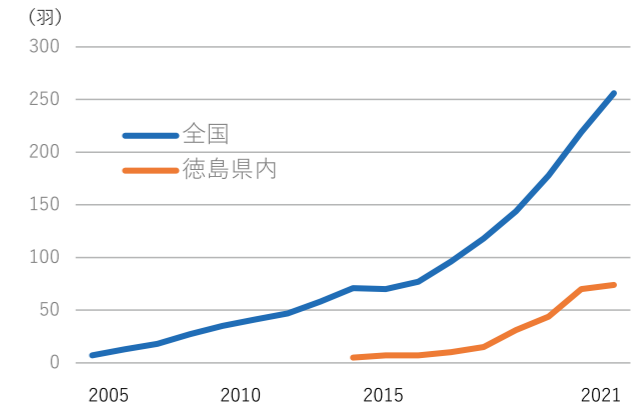
上：本州から飛来したコウノトリの若鳥グループ 鳴門市大津町

下：鳴門板東ペアの あさひ (左) とゆうひ 鳴門市大麻町

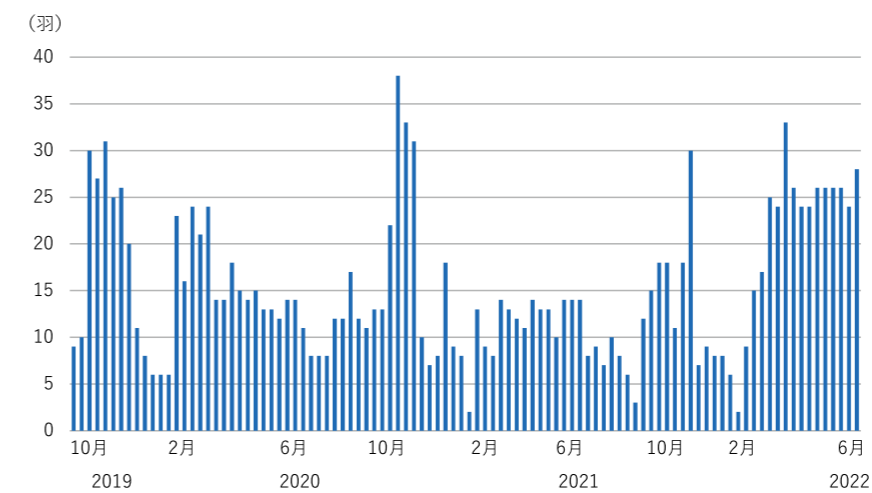


野外個体数が増加

1971年に野生絶滅し、2005年に放鳥が始まってから16年となる2021年、コウノトリの野外個体は250羽を超えました。2022年は、全国で繁殖するペアがさらに増え、野外個体数は300羽を超えると予想されています。野生復帰を確実にするためには、全国により多くの生息地や繁殖地が必要です。



※全国の個体数は兵庫県立コウノトリの郷公園のデータを使用



徳島県内に滞在するコウノトリの数の季節変動 (2019-2022)

徳島県内の確認数

徳島県内での確認数も増え、2021年の年間確認数は74羽となり、2013年以降に徳島県へ飛来したことがあるコウノトリは130個体を超えました。鳴門で繁殖している「鳴門板東ペア」は完全に鳴門に定着していますが、他のほとんどが2歳以下の若い個体で、本州と四国を頻繁に行き来しています。このため、県内の個体数は年間を通して大きく変動しています。

徳島県内での繁殖

鳴門市では、J0044 (オス; ゆうひ) と J0480 (メス; あさひ) の「鳴門板東ペア」が2017年から連続して繁殖に成功しています。2022年も6月に3羽が巣立ち、鳴門市で巣立ったコウノトリは累計17羽になりました。しかし、県内外において送電線への衝突事故などにより、これまでに5羽が死亡してしまい、1羽が長期消息不明です。

「鳴門板東ペア」は、順調に野外繁殖をしていますが、県内で繁殖するペアはこの1ペアのみです。

国内で最も南に位置し、四国・九州では唯一の繁殖地であるこの地域を、より安定的な繁殖地にするためには、複数の繁殖ペアの形成が望まれます。

鳴門生まれのコウノトリの近況 (2022年6月中旬時点)

生まれ年	個体番号	愛称	居場所等
2017	J0140	♂ 蓮 (れん)	2020年4月香川県で事故死
	J0141	♂ なる	佐賀県杵島郡 (2022年6月中旬に確認)
	J0142	♀ あさ	2018年2月鳴門市で事故死
2018	J0181	♀ 歌	2020年10月栃木県で事故死
	J0182	♀ 百 (もも)	不明 (2018年10月下旬に三重県で確認)
2019	J0223	♀ 藍	兵庫県丹波篠山市 (2022年5月中旬に確認)
	J0224	♂ 令	2020年10月鳴門市で事故死
	J0225	♀ 和 (かず)	2020年10月京都府で事故死
2020	J0278	♂ 渦	鳴門市 (2022年6月中旬に確認)
	J0279	♀ めい	鳴門市 (2022年6月中旬に確認)
	J0280	♂ 海 (かい)	京都府与謝郡 (2022年6月中旬に確認)
2021	J0346	♀ えがお	島根県雲南市 (2022年6月中旬に確認)
	J0347	♀ にじ	徳島県小松島市 (2022年6月中旬に確認)
	J0348	♀ 花 (はな)	島根県松江市 (2022年4月上旬に確認)
2022	J0418	♂ 爽 (そう)	鳴門市 (2022年6月中旬に確認)
	J0419	♂ 大 (だい)	鳴門市 (2022年6月中旬に確認)
	J0420	♀ なみ	鳴門市 (2022年6月中旬に確認)



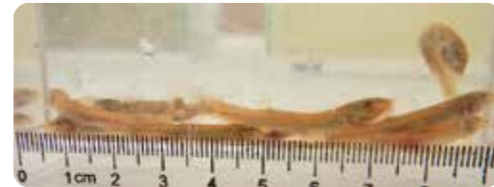
2020年から鳴門市大麻町大谷の帆崎地区で、2021年から大麻町牛屋島の川淵地区で耕作放棄地等を再生してビオトープ整備を進めています。少しずつですが、成果が見え始めました。さらに、2022年から鳴門市の島田島でも住民の皆さんとの協働によりビオトープ整備に着手しました。

● 帆崎地区（鳴門市大麻町大谷）

整備開始後2年がたち、水生動物が増えつつあります。2022年、初めてたくさんのドジョウの稚魚を確認。ビオトープで繁殖し始めたようです。コウノトリも頻繁に利用するようになってきました。



コウノトリの飛来が増えてきた 2022年6月



小学生が野外学習で採集したドジョウの稚魚



ドジョウを捕食するダイサギ 2022年6月

※このビオトープ整備は、一般財団法人日垂ふるさと振興財団の助成を受けています

● 川淵地区（鳴門市大麻町牛屋島）

工事着手して1年が経ち、今年の2022年の春から水を溜められるようになりました。時々ですがコウノトリもやって来ています。水路を掘って大谷川とつなげたことにより、ビオトープ内にコイやフナ、タナゴ類、ボラなどが入って来るようになり、コイの産卵を確認しました。トンボの生息数も増えてつあります。



トラクターで草の管理作業 2022年6月



飛来して休むコウノトリの若鳥グループ 2022年5月

※このビオトープ整備は、サントリー世界愛鳥基金の助成を受けています

● 大島田地区（鳴門市瀬戸町島田島）

・・・地元団体との協働事業

鳴門海峡と瀬戸内海に面した島田島は、多くの渡り鳥のルート上に位置し、コウノトリが本州と徳島を往来する時には上空を通過することがあります。大島田には40年以上も前から耕作放棄地になっている広い水田地帯があります。

2022年、地元有志の皆さんが「島田島にコウノトリを呼ぶ会」を結成。耕作放棄地をビオトープとして再生することになり、とくしまコウノトリ基金も協力させて頂くことになりました。

カエル類やトンボ、ドジョウなどの生き物が豊富で、コウノトリが短期滞在したこともあります。民間が主体となって整備するビオトープとしては、全国的にみても大規模です。



整備前 2021年2月



ヨシ焼き 2022年1月



トラクターで耕耘 2022年3月



進入路作り 2022年3月



水辺の環境が復活したビオトープは絶滅危惧種のニホンアカガエルやトンボの繁殖地に。水路にはウナギも生息 2022年6月

※このビオトープ整備は、米国コカ・コーラ財団の助成を受けています



● 足環装着



2022年5月20日、足環装着プロジェクトチームが、孵化後43日の3羽のひなに足環を装着。2017年以来6回連続の足環装着となりました。コウノトリ基金は、装着のための調査、情報の収集分析、機材調達、技術研修などを担当しています。今年のひなの平均体重は、これまでより重く、大きく成長していました。

ひなの個別別データ					
個体番号	性別	足環		体重(g) 5月20日 計測	愛称
		右	左		
J0418	オス			4,490	爽(そう)
J0419	オス			4,703	大(だい)
J0420	メス			3,945	なみ

今年は板東小学校の児童が雛の愛称をつけてくれました。

● 巣立ち

2022年6月15日午前J0420メス(なみ)が、午後J0419オス(大; だい)、J0418オス(爽; そう)が巣立ちました。



J0420(なみ)の巣立ちの瞬間 2022年6月15日

● 観察カメラの設置

2021年12月に、鳴門板東ペアの巣の様子を観察するカメラを増設しました。増設したカメラは、以前より高画質で、夜間でも鳴門板東ペアやひなの様子がはっきりと確認できるようになりました。すると、夜間でもあさひとゆうひが、ひなに餌を運んでいることがわかりました。昼夜を問わず、子育てに追われているようでした。



● 負傷個体などの救護3件

2022年4月からスタートした徳島県の「コウノトリ救護センター」の一員として、3件(3羽)の救護活動を行いました。

5月18日、翼を負傷して飛べないJ0338(2021年兵庫県豊岡市生まれのメス)を県、鳴門市、とくしま動物園の職員とともに捕獲。

6月9日、胸部の負傷が原因と思われる飛べないJ0319(2020年兵庫県豊岡市生まれのメス)を松茂町職員とともに捕獲。

この2羽は、とくしま動物園で検査と治療を行っています。

6月20日、用水路から出られず泳いでいたJ0419(2022年鳴門生まれのオス、愛称; 大)を鳴門市職員が捕獲。羽毛を乾かせたあと、県、鳴門市の職員とともに巣の近くの水田で放鳥。

1時間20分後には巣に戻りました。



捕獲の様子 2022年6月15日(鳴門市提供)

● コウノトリ普及活動

コウノトリのことや、基金の活動を知っていただくために、パネルやさわれる剥製の展示などを行いました。新たに実物大タペストリーを制作し、ご来場いただいた方々に、コウノトリの大きさを感じていただきました。



2022年2月
オーガニックエ
コフェスタでの
活動紹介パネル
とさわれるは
く製展示



2022年5月
とくしま動物
園での等身大
タペストリー
とさわれるは
く製展示

● 堀江北小学校での環境学習

昨年に続いて、鳴門市堀江北小学校の4年生にコウノトリやその生息域の環境を学んでもらえるような授業を行っています。「コウノトリ」「トンボ」「淡水魚」「カエル」などをテーマに、教室での座学と、ビオトープでの観察を実施しています。



2022年5月 ビオトープで生き物探し

● トンボと魚類の図鑑などを発行



コウノトリ生息エリア(鳴門市大麻町を中心としたレンコン田、田んぼ、ビオトープ、水路等)で主に見られる生き物の図鑑を3冊発行しました。PDF版を用意していますのでご利用ください。



トンボ図鑑



魚類図鑑



ビオトープ
とレンコン
畑の生き物

※この図鑑は、トヨタ自動車株式会社のトヨタ環境活動助成プログラムの助成を受けて作成しました

● 3つの賞を受賞



令和3年度「とくしまNPOきらめき賞」(主催: 徳島県)と、令和4年度「とくしま環境県民会議表彰」(主催: とくしま環境県民会議)、一般社団法人徳島経済同友会より表彰をいただきました。

皆様に支えられて受賞することができました。ありがとうございます。

ビオトープ米でお酒を造るプロジェクト

農家のみなさまと本家松浦酒造場が連携し、ビオトープ米で日本酒をつくるプロジェクトが、今年も進んでいます。3年目となった今年は、6月1日と10日に田植えを行いました。田植え前に代かきをした際には、トラクターの近くまでコウノトリがやってきてくれたそうです。ビオトープは、コウノトリと私たちがつながる場になっています。

※このプロジェクトは、一般社団法人日垂ふるさと振興財団の支援を受けて実施しています



PR動画

れんこん販売促進キャンペーン

コウノトリは、カエルや魚、ザリガニなど多くの餌をれんこん畑で得ています。徳島県特産のれんこんが、コウノトリの繁殖や生息を支えていると言えます。このため、れんこん生産がより盛んになり、水生動物を育む農業環境が維持されるよう、徳島県産れんこんと「コウノトリれんこん」を応援するキャンペーンを実施しました。とくしまブランド推進機構（地域商社 阿波ふうど）に全面的にご協力いただき、2021年秋から2022年3月にかけて、県内だけでなく、首都圏や関西圏で様々な取組を展開しました。

※この取組は環境省の地域循環共生圏事業の支援を受けて実施しました



れんこん料理を提供するお店づくり（徳島県内）

東京と西宮のレストランでセミナーを開き、レストランと受講者の野菜ソムリエがSNSで情報発信

雑誌「めぐる、」でPR

コウノトリれんこんのPR動画を制作

エコツアーが始まります

コウノトリを育む大谷川カヌーツアー

催行事業者：NPO法人 川塾
コウノトリの生息域を大きく蛇行して流れる大谷川を、地域の歴史や生息する生き物を紹介しながらカヌーでゆっくりくたります。（2022年秋から募集予定）

れんこん畑をかけめぐるポタリングツアー

催行事業者：小さな地域商社 スイミー
ブロンプトンという折りたたみ自転車を使い、コウノトリが選んだ鳴門の自然の中を地域の魅力ある商品やコウノトリ基金の活動を紹介しながら巡ります。

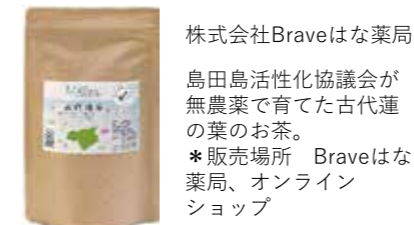


売上からご寄付をいただいている商品

私たちの活動に賛同していただいた企業、団体が販売しているコウノトリとの共生を考えた商品をご紹介します。
※売上の一部をコウノトリ基金の活動にご寄付いただいております。

食品

古代蓮茶



株式会社Braveはな薬局
島田島活性化協議会が無農薬で育てた古代蓮の葉のお茶。
*販売場所 Braveはな薬局、オンラインショップ

コウノトリの酒 朝と夕



本家松浦酒造場
鳴門板東ペア「あさひ」と「ゆうひ」が子育てする巣の近くで、特別栽培（化学農薬、化学肥料の使用量当地比5割減）で育てたお米でつくられた日本酒。
*販売場所 本家松浦酒造場、県内スーパー等

NEW

れんこん入りゆずみそ



株式会社柿りっ子
徳島県産農薬不使用ゆずと、特製の阿波御膳みそで作った、原材料国産100%・保存料着色料無添加の手作りゆずみそに徳島県産のれんこんを加えた「おかずみそ」。
*販売場所 県内スーパー、県内物産館、ネットショップ

コウノトリれんこん



JA徳島北特別栽培部会
コウノトリの生息、繁殖を支えてくれているレンコンを、特別栽培（農薬・化成肥料を慣行の5割減）で生産。鳴門市の「コウノトリおもてなし」認定。
*販売場所 JA徳島北

れんこんカレー 薬膳粥



NPO法人れんこん研究会
「コウノトリれんこん」がたくさん入った、健康と美味しさにこだわったカレーと薬膳粥。四国大学短期大学部の学生とNPO法人れんこん研究会が共同で開発。
*販売場所 農産物直売所えがお、道の駅第九の里、なると物産館

日用品、グッズ等



はばたき866

有限会社 丸喜商店
「コウノトリおもてなし」認証に必要な栽培方法に適合する、有機質成分の多いれんこん用肥料。
*販売場所 JA徳島北



NEW

トートバッグ

鳴門西ライオンズクラブ
コウノトリの巣がある大麻町をPRするために制作。
*販売場所 鳴門市ドイツ館、道の駅第九の里、なると物産館



NEW

藍-indigo-コウノトリカップ

大西陶器
“コウノトリも新たな徳島を代表する存在になってほしい”という願いと、鳴門に定着しているコウノトリ“あさひ”から釉薬に藍染の染料に用いる灰を使い、夜から朝に変わるさわやかな空を表現。
*販売場所 大西陶器



NEW

鶴 -KAN-

梅里窯
大谷焼の窯元、梅里窯によるコウノトリの翼をイメージした四角いお皿。普段使いもしやすいように考え、シンプルにデザイン。
*販売場所 梅里窯



NEW

SDGs コウノトリ応援 宿泊プラン

アオアヲナルトリゾート
鳴門公園に立地しているホテル・アオアヲナルトリゾートの利用者とホテルから、当基金に寄付していただく宿泊プラン。
*販売場所 ホームページ

ボランティアチーム「クレイドル」の活動

コウノトリ基金の活動を手伝ってくださるボランティアチーム「クレイドル(英語で“ゆりかご”の意味)」を2020年8月に立ち上げました。毎月第1、3土曜日を定例活動日として、ピオトープの整備や産卵床づくり、調査用のトラップづくり等を行っています。生物多様性への関心や理解を広めるため、2021年2月から定期的に専門家をお呼びした勉強会(ストークの会)も行っていきます。クレイドルのメンバーを募集しています。ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください。 **募集中**

● 魚道づくり

整備したピオトープと川や水路を、魚などの生き物が行き来できるように、魚道を4か所に設置しました。また、ピオトープの水が少なくなった際に生き物が避難できるように、深みをつくりました。



● 産卵床づくり

フナやコイの産卵場所づくりを行いました。塩ビパイプや竹で作った枠にシュロや「きんらん」を取り付けた産卵床を水路に浮かべました。どちらにもたくさんの卵を産んでくれました。



● ピオトープでお米づくり

2022年6月12日、JA徳島北前にあるピオトープで、徳島大学の学生のみなさんと田植えを行いました。田植え前には、肥料として「はばたき866」と「朝と夕」(7ページ参照)の酒粕を撒き、農薬を使わず栽培します。



● トラクターを導入しました

後輪がキャタピラになっている、湿地用のトラクターを導入しました。これで、ピオトープの中もへっちゃらです！



● ストークの会

専門家をお招きし、勉強会を開催しています。ピオトープ周辺に暮らすカエルやコウモリなどの生態や、魚道を設置する効果やその調査のお話を伺いました。



● 活動の拠点ができました！

2022年3月、JA徳島北のとなり、フィールド作業時に使用する道具類の保管や休憩場所になる「大谷ベース」が完成し、クレイドルの活動拠点となっています。電気、水道はありません。2022年4月から板東南ふれあいセンター内の一室をお借りし、観察会やストークの会などのイベント開催や、事務作業スペースとして利用を開始しました。



賛助会員 (公開に同意いただいた方のみ掲載しています)



企業・団体 (2022年6月末時点) *左から縦に入会順、敬称略

徳島北農業協同組合	日本野鳥の会徳島県支部	蕙愛レディースクリニック
大津松茂農業協同組合	社会福祉法人白寿会	赤松土建株式会社
徳島県危機管理環境部	ニタコンサルタント株式会社	光設計株式会社
大久保産業株式会社	喜多機械産業株式会社	富田製薬株式会社
新風とくしま	株式会社姫野組	徳島県建設業協会鳴門支部
株式会社阿波銀行	株式会社ネオビエント	株式会社テレビ鳴門
公益財団法人とくしま産業振興機構	公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク	一般社団法人徳島経済同友会
一般社団法人徳島新聞社	四国高速運輸株式会社	株式会社イルローザ
四国放送株式会社	四国電力株式会社徳島支店	井上建設株式会社
一般財団法人徳島県観光協会	四国電力送配電株式会社徳島支社	株式会社中岸商店
徳島商工会議所	斎徳株式会社	徳島県森林組合連合会
JA徳島中央会	一般社団法人徳島県労働福祉会館	株式会社徳松
JA全農とくしま	株式会社エコー建設コンサルタント	ケーブルテレビ徳島株式会社
JAバンク徳島信連	株式会社ヨシミ	国立大学法人鳴門教育大学
JA共済連徳島	有限会社丸喜商店	東とくしま農業協同組合
JA徳島厚生連	有限会社八木土建	徳島製材団地協同組合
四国建設コンサルタント株式会社	公益社団法人徳島県物産協会	株式会社三木組
一般社団法人徳島県建設業協会	徳農種苗株式会社	有限会社吉本商店
徳島県土地改良事業団体連合会	株式会社寺内製作所	四国化工機株式会社
株式会社松本コンサルタント	医療法人倚山会田岡病院	NPO法人生活楽校 学びの社
徳島市農業協同組合	総合ビル・メンテム株式会社	株式会社本家松浦酒造場
国立大学法人徳島大学	徳島県医師会	株式会社Brave はな薬局
阿波観光ホテル	株式会社アルボレックス	有限会社ジャンプ工業
菊池産業株式会社	東海運株式会社	株式会社コープ有機
株式会社フジタ建設コンサルタント	株式会社ダイリFPC	生活協同組合コープ自然派しこく
株式会社徳島大正銀行	徳島県漁業協同組合連合会	株式会社袖りっ子
社会医療法人川島会	学校法人四国大学	花れんこん
コウノトリ定着推進連絡協議会	森田緑化株式会社	アオアヲナルトリゾート
株式会社マルハ物産	徳島トヨペット株式会社	
徳島信用金庫	板野郡農業協同組合	

個人

布川 洋之	八尾 和樹	梶川 寿幸	阿部 徳男	西村 秀美	吉田 一郎	森 裕二	井沢 幸雄
安井 俊之	仲田 優晴	熊谷 美智子	西村 宏昭	河田 ひろみ	十川 勝幸	小澤 俊樹	萬宮 千鶴子
小笠原 章	北岡 和義	藤原 学	西村 耕世	小林 正美	妹尾 美加	広瀬 和範	

🌸 ご寄付有難うございました

7ページで紹介している商品売上からのご寄付以外に、次の団体からお金のご寄付をいただきました。

生活協同組合コープ自然派しこく様

🌸 SNS 配信しています



🌸 ご支援、ご入会をお願いします

NPO法人とくしま コウノトリ基金は、たくさんの個人や企業、団体の皆様の支えがあって、活動を展開することができます。賛助会員、協力会員としてご参加いただき、ご支援をお願いいたします。



入会方法など
とくしまコウノトリ基金HP



特定非営利活動法人

とくしまコウノトリ基金

Non-Profit Organization Tokushima Stork Fund

〒771-0203 徳島県板野郡北島町中村字岸ノ上 1-288

TEL.090-2825-6721 E-mail info@t-stork.jp

<https://www.t-stork.jp>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT  GOALS